

かみ　さま 神様、ありがとう！



「何て きれいな お星様なのかしらね、フェリックス？」
うら庭の しばふに ねころびながら、5才の テッサが ネコに
言いました。「見て。キラキラ かがやいてるわ！」

フェリックスは それに こたえるように、頭を かいて、
あくびを しました。

「フェリックス、神様が お星様を 造ったのよ。知ってた？
それだけじゃ ないの。日曜学校の チャールズ先生が
おっしゃってたけど、神様が すべての ものを 造って
くださったの！ だから、その すべてを 神様に 感謝しましろう
って。」

「足元で さいている 花を、父よ、感謝します。」と、
テッサが 言いました。

「しんせんで やわらかい しばふを、父よ、感謝します。
鳥の さえずる 声や、ハチの 飛ぶ 音、
わたしたちが 目に したり 耳に する、すべての すてきな ものを、
天の 父よ、感謝します。」¹

「フェリックスは、何を^{なに}感謝^{かんしゃ}してる？」 テッサが ネコに たずねました。

フェリックスは うなずくように、前足^{まえあし}を なめました。

フェリックスは しっぽを ふって、ミャオーと 言いました。

「テッサ。もう ねる 時間^{じかん}よ！」 家^{いえ}の中^{なか}から お母さん^{かあ}が よびました。

「わたしも、やわらかい しばふが 好き^す。」 テッサは クスクス 笑^{わら}いました。

テッサは フェリックスを だき上げ^あ、毛^けを なでながら、家^{いえ}の中^{なか}に 入り^{はい}ました。
「神様^{かみさま}、すべての ものを 感謝^{かんしゃ}します！」

「友だちと 遊ぶ^{あそ}のもね。今日^{きょう}は、わたしの たんじょうパーティーに
みんなが 来て^きくれて、楽し^{たの}かったわ。家族^{かぞく}が いて、家^{いえ}が あって、良^よかった。」
テッサは うでを 広^{ひろ}げて 言^いいました。「すべての ものを、感謝^{かんしゃ}します！」

今日^{きょう}は、神様^{かみさま}に 感謝^{かんしゃ}する
時間^{じかん}を 取り^とりましたか？
神様^{かみさま}の 子^こである あなたに
良^よくして くださった ことを
おも だ 思い^{しゅく}出して、その 祝福^{しゅくふく}を
感謝^{かんしゃ}する 時間^{じかん}を
と 取り^とみましょう。

1 伝統^{でんとう}的な 賛美^{さんび}歌^か 「父^{ちち}よ、感謝^{かんしゃ}します」より。
作者^{さく}不明^{めい}。ラルフ・ワルド・エマーソン作とも
言^いわれている。

